

令和6年度第1回 江東区入札監視委員会 議事概要

【 開催日時 】

令和6年8月7日（水） 16時～20時

【 開催場所 】

江東区文化センター6階第5会議室

【 出席委員 】

一條義治（委員長）、芝田麻里（委員）、新井康友（委員）

【 事務局 】

総務部経理課、地域振興部経済課、区民部豊洲特別出張所、こども未来部
保育支援課

【 議 題 】

- 1 抽出案件の審議について
「2年目以降を特命随意契約としている案件について」
- 2 令和5年度下半期の入札・契約状況について
- 3 次回の抽出案件について

【 資 料 】

- 資料1 抽出案件説明書（江東お店の魅力発掘発信事業（ことみせ）
業務委託）
- 資料2 抽出案件説明書（江東ブランド推進事業運営業務委託）
- 資料3 抽出案件説明書（豊洲シビックセンター総合管理業務委託）
- 資料4 抽出案件説明書（保育園ナビゲーター業務委託）
- 資料5 令和5年度下半期 入札・契約状況（総括）及び
令和5年度入札・契約状況（総括）

【 抽出案件の審議について 】

(審議 1) 江東お店の魅力発掘発信事業 (ことみせ) 業務委託

江東ブランド推進事業運營業務委託

<2 事業共通部分>

委員の主な質問・意見等	区の説明・回答
○プロポーザル実施要領の参加資格に官公庁（自治体）の実績を求めているのはなぜか。	○経理課との協議で決めたもの。 ○自治体の期待する内容、意思決定の過程や支払い等の事務の流れを理解している事業者との契約が望ましいと考え、一定程度の信頼性を担保するために設けた。
○プロポーザルの参加がそれぞれ 2 者と 1 者であったことを踏まえると、官公庁での実績を参加資格とするのではなく、審査時に加点する評価を行えば良いのではないか。 また、一定期間における官公庁での実績を参加資格とすることで、参加のハードルを高くしている可能性があるのではないか。	○プロポーザルの参加者が少ない傾向が続くようであれば、加点することもある。 ○官公庁での実績を、評価時の加点項目に採用することを今後検討していく。
○選定時プロポーザルの審査はどのように行っているか。また、更新時、特命契約を決定する際の評価はどのように行っているか。 プロポーザルによる事業者決定の翌年の特命契約における評価は、係間で違いも見られる。このような特命契約における評価のあり方について、全庁的な評価基準や評価のあり方を検討すべきではないか。	○審査は、プロポーザルの事務マニュアルに沿って行った。 ○特命契約を決定する際の評価は、月次報告、年次報告を確認しているほか、各種イベントに同行した担当者からの報告で活動状況を確認している。 ○来場者数、配布数、閲覧数等の定量的な情報は、前年度比較を行っている。 ○係内、関係協議体、課内で実績を共有し、次年度の契約を判断している。 ○評価結果の具体的な点数化はしていない。 ○評価基準にばらつきが出ないようにマニュアルに評価項目を例示するなど周知策を検討する。

委員の主な質問・意見等	区の説明・回答
○仕様がかわらないが、契約金額が上がっている要因はなにか。	○メールシステムのセキュリティ強化対応、イベント出展料や人件費の高騰に対応したこと。
○プロポーザル参加者が少ないと特定の事業者への依存が高まる恐れがあるのではないか。	○参加者が増え、競争性が高まるよう、仕様の調整を検討し、事業の継続を図っていく。
○区職員が委託先の事業者に指示することは、委託契約ではできないはずだが、行っていないか。	○区職員が、従事者（事業者の社員等）に直接指示を出すやり方はしていない。
○委託上限額の設定は、どのように行うのか。	○受託事業者に次年度の事業案をもとにした費用の積算を依頼している。 ○見積を徴取し、事業内容の精査、金額の調整をしたうえで決定している。

（審議 1）江東お店の魅力発掘発信事業（ことみせ）業務委託 ＜個別部分＞

委員の主な質問・意見等	区の説明・回答
○仕様書では事務局に 3 名以上の常駐を求めているが、求める業務が的確に履行されていれば良いのであり、人数指定は必要か。また、出勤簿等の書面で勤務状況の確認は行っているのか。	○商店街内に事務局を構え、地域と交流しながら、地域を活性化させることも目的としているため、複数人の配置が必要である。 ○勤務状況は、業務実施状況などで確認している。
○イベントの企画運営とは、どのようなことをやっているのか。	○区民まつりやこどもまつりのほか独自にキッチンカーなどで登録店が出店できるイベントも行っている。
○事業者が変わる場合、取材能力の差、登録店等との関係性の再構築が課題となるが、どう対応しているのか。	○事業者間の引継ぎの際に区が仲立ちとなり、必要事項の引継ぎがされているか確認している。 ○事業者変更となる場合は登録店向けに区が文書を送り、混乱がないよう努めている。

(審議 1) 江東ブランド推進事業運營業務委託

<個別部分>

委員の主な質問・意見等	区の説明・回答
○プロポーザルの実施要領で求めている官公庁での実績が、ことみせ事業よりも短いことには、何か理由があるか。	○中小製造業の直近の情勢、シティプロモーションや自治体ブランディングなど PR 活動の傾向を事業実施に反映させるため、直近の経験を重視している。
○商業施設の出展費用はなぜ委託費に含めていないのか。	○商業施設への出展では、費用が掛からない場合もあるため、委託費とは別に予算措置をしている。
○プロポーザルで参加者が増えないのは、事業者にとって何か難しい面があるのではないのか。	○複数者が参加していた時期もある。 ○今後も PR 会社等に事業の存在を周知していく。
○ブランド認定審査委員会の委員候補の推薦と就任交渉、委員会の開催、認定基準案の作成、候補企業のリストアップと公募への働きかけ、更には認定へのフォローなど中核的な業務であり、委託事業者との調整はどのようなになっているのか。	○どの業務も区担当者と事業者の責任者が綿密に調整し、役割分担を決めて行っており、区の意向が反映されるように双方で確認しながら進めている。

(審議 2) 豊洲シビックセンター総合管理業務委託

委員の主な質問・意見等	区の説明・回答
○契約金額の主な用途は。	○主に人件費。約 50 名分に充てる。 ○エレベータ等の設備の保守点検の外注費用にも使われる。
○希望型指名競争入札に変更して変化はあったか。	○令和 4 年度から令和 5 年度にかけて、契約金額が下がった。 ○入札参加者数が増加し、競争率が高くなったためと考えている。
○競争性が高まったのは良い面だが、逆に課題は生じていないか。事業者の業務成績評価では一部のサービスの質の低下を課題としているが、これは本件で希望型指名競争入札を採用したことによる問題ではないのか。	○質の確保は、今後も継続していく課題と捉えている。 ○契約金額を低く抑え、望んだ成果も見込めることが理想である。引き続き契約や仕様のあり方を検討していきたい。

(前頁から続く)	○業者変更に伴う、質の不安定化を抑えるため、仕様の内容や望む結果を区と事業者で共有できるよう、打ち合わせや履行状況の確認を繰り返し行う。
○事業者の評価方法はどのようにしているのか。本件は指定管理業務に近いものであり、政策経営部が所管の指定管理者の評価のあり方とも調整すべきでないか。	○経理課作成の「業務成績評定表」に基づいて区担当者・係長・課長が評価を行い点数化し評価をしている。 ○評価のあり方は検討課題としたい。
○事業者が変わった場合、施設内にいるたくさんの従事者は、総入れ替えになるのか。	○事業者側の判断による。 ○新会社の体制や従業員の意向等により、一定数の従業員が転籍することもある。

(審議 3) 保育園ナビゲーター業務委託

委員からの質問	区からの回答
○ナビゲーターは何人程度従事しているのか。窓口だけではなく、電話も受けるのか。	○本庁舎で7～8人、豊洲特別出張所に1～2人従事している。 ○電話対応は令和5年度から委託している。
○プロポーザルの参加資格で、自治体での実績期間を令和2年度から4年度に限定するのは厳しいのではないか。評価時の加点項目にしてはどうか。 参加のハードルを高くしている可能性があるのではないか。	○他自治体でも保育関連事業を行っているため、事業者の母数は一定程度あると認識しており、同様の事業の導入が進んでいることから、直近の受託実績を要件とした。 ○自治体での実績を、評価時の加点項目に採用することを今後検討していく。
○事業者にプライバシーマーク、ISMS、ISO9001のいずれかを求めるのはなぜか。	○事業の性質上、個人情報扱うため、事業者の自主的な取り組みを証明するものとして求めている。 ○人材派遣会社の多様化が進んでいるため、選別の材料としても必要である。

委員からの質問	区からの回答
○元々は区職員が行っていた業務であり、希望園の事前相談、申請書類の受付と確認、さらには入園が決まらなかった家庭へのフォローなど多様かつ本来的な業務を委託しているが、区職員が事業者へ指示することなく実施できるのか。区として委託のあり方を振り返る機会ではないか。	○入園申請や個別相談の中でも定型的な業務について委託を行っており他自治体でも同様に実施されている。 ○業務の指示は、区担当者から統括責任者を通して行っている。 ○従事者は、統括責任者からの指示のもとに活動するよう指揮命令系統ができています。 ○業務の拡大が続く中、区職員は困難案件や制度・基準に関する業務に注力していく必要がある。 ○委託の在り方や内容は、随時見直しを図っていく。
○事業者の評価は、どのように行っているのか。	○定量的な面は、対応者数等の実績を前年度と比較して評価している。 ○定性的な面は、製作物や出張説明会に対するアンケート結果や委託による区職員の業務拡大成果等を検証し評価している。